TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神さまは愛　光の中を歩む

ヨハネの手紙第一 1章5節－2章2節

2025年11月29日 & 30日

余沢　武　牧師

I. イントロ

TBC を代表して私と美樹に HPBC（ハワイアン・パシフィック・バプテスト・コンベンション）の年次総会に参加させていただき、ありがとうございました。他の牧師たちと会うことができ、祝福の時間を過ごしました。また、その会場で 1980 年代に TBC で救われたというお二人にも会いました。神を称えます！

神が新しい世代のために礼拝堂を再建していく中で、TBC を引き続き用いてくださるよう祈っています。IBP プロジェクトを再開してから 4 ヶ月が経ちました。ここで近況をお知らせします。

これが現時点を表している表です。毎月同じペースで進んでいます。皆さんが惜しみなく献げ続けてくださっていることに、心から感謝します。来年建築を始めることができるように引き続き祈り続けましょう。

2 週間前、「神さまは愛」と題して、ヨハネの第一の手紙から新しいメッセージ・シリーズが始まり、次のことを学びました。
イエスは「いのちのことば」であり、創造主であり、永遠のいのちそのものであること。使徒たちがのべ伝えた福音を私たちが受け入れたとき、私たちは彼らと交わりに入ったということ。そしてその交わりによって、父なる神と御子イエス・キリストと一つとなり、その思い・望み・行動を共にする者となって、私たちの喜びは満ちあふれるということ。

今日は、私たちが本当に父と御子との交わりの中にいるかどうかを確かめるための「3 つのテスト」を見ていきます。では、祈りましょう。

II. 光の中を歩む

(1) 神は光である

ヨハネの手紙一 1:5 を見ましょう。「5 私たちがイエスから聞いて、あなたがたに伝える知らせとは、神は光であり、神には闇が全くないということです。」父と御子との交わりに入ることができるようにしてくれたメッセージはこれです。「神は光であり、神には闇が全くないということです。」

ヨハネが「神は光である」という時、「神は道徳的に完全である」という意味です。神のご性質と御言葉こそが、何が正しく、何が間違っているかを定義します。これは、私たちが神と交わるための土台です。神との交わりを持つとは、この神の基準を自分のものとして受け入れ、それを望み、それに従って生きることです。

教会で最も悲しい出来事の一つは、イエスを信じていると言い、クリスチャンとして生きようとし、さまざまな教会のミニストリーに参加していた人が、ある日、人生になんの変化も見られないからとか、誰かあるいは何かに傷つけられたからとかいう理由で、クリスチャンを辞めると言い出すことです。

要するに、神との交わりから来る喜びは彼らにとってなじみのないもので、神を知りません。そこで、ヨハネは、私たちが本当に神と交わりを持っているかどうか確かめるための 3 つのテストを示しています。それによって、クリスチャンの人生としての喜び―永遠のいのち―を本当に経験しているかどうかを確かめることができます。

(2) テスト#1：歩みのテスト

1番目のテストは歩みのテストです。6－7 節にあります。「6 神と交わりを持っていると言いながら、闇の中を歩むなら、私たちは偽りを述べているのであり、真理を行ってはいません。7 しかし、神が光の中におられるように、私たちが光の中を歩むなら、互いに交わりを持ち、御子イエスの血によってあらゆる罪から清められます。」

このテストは歩みのテストです。ここでいう「歩み」とは、ライフスタイルや習慣を指します。誰でも「神を愛している」とか「神と交わりがある」とか言うことはできます。しかし、ヨハネはこう言います。

闇の中を歩んでいる場合、神の「道徳的な完全さ」を追い求めることが、その人のライフスタイルや習慣になっていません。恐らくQTを持っていません。その人の人生は、自分の思い・望み・行動が表れています。

光の中を歩んでいる場合、神の「道徳的な完全さ」を追い求めることが、ライフスタイルや習慣になっています。主に日々のQTを通して、その人は、神の御言葉に沿って考え、望み、行動しています。

ヨハネによると、
もし私たちが「闇の中を歩んでいる」、すなわち神の「道徳的な完全さ」を追い求める習慣を持っていないのに、「神と交わりを持っている」と言っているなら、私たちは嘘をついています。神との交わりを持っていません。

私たちは、クリスチャンになった、変わった、今は愛や聖さ、信仰、謙遜を大切にしていると言うかもしれません。しかし、心の奥底では、神との交わりを通して変えられていないなら、私たちは変わらず同じ人です。人に対してすぐ怒り、性的に不道徳であり、お金や人からの尊敬を求めます。

一方で、もし私たちが「光の中を歩んでいる」、すなわち神の「道徳的な完全さ」を追い求める習慣を持っているなら、私たちは神と交わりを持っています。神の望まれることに従って、同じように考え、望み、行動しています。私たちには一致があります。そして、「互いに交わり」を持ちます。

私たちはまだ罪を犯すことがあります。しかし、神の「道徳的な完全さ」を追い求めているため、罪を犯した瞬間にそれをすぐに認め、悔い改め、赦しを求め、神に変えてもらいます。罪に気付くことは変わる機会です。明らかにこの二つのグループは違います。

数年前、私は性的不道徳、特にポルノについて説教する機会がありました。メッセージの後、一人の男性、クリスチャンの奉仕者でしたが、神に対して重大な罪を犯していたとは気づかなかったと私に打ち明けてくれて、一緒に祈りました。

彼は実際、私に打ち明けて恥をかく必要はありませんでした。しかし、彼はそれを気にしませんでした。ただ神の御言葉にある基準に従って生きたいと思ったのです。これが、光の中を歩む者の姿です。みんなはこうでありません。これが第一のテストです――「私たちは光の中を歩んでいますか？」

(3) テスト#2:告白のテスト

2番目のテストは告白のテストです。8-9節にあります。**「8 自分に罪がないと言うなら、自らを欺いており、真理は私たちの内にありません。 9 私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、あらゆる不正から清めてくださいます。」**

私たちが本当に神との交わりを持っているかどうかを確かめる第二のテストは、「告白のテスト」です。罪を告白することが習慣やライフスタイルになっていますか？

ヨハネの時代、ギリシャ哲学の影響により、一部の偽教師たちは霊的なものは良いが、肉体的なものは悪い、と教えていました。もし霊が救われているなら、神は罪深い肉体で犯す罪を気にせず、神の目には罪はない、と教えていました。

今日でも、似たような哲学があります。一部の人は、神は私たちが罪深いことを知っていて、もし私たちが救われているなら、罪深い肉体で犯す罪、特に他人に害を及ぼさないような小さな罪について、神は気にしていない、と考えています。「私たちに罪はない」とまでは言わないかもしれませんが、神が気にしていない小さな罪はある、と言います。

ヨハネはこう言います。
もし私たちはそのような考えを持っているなら、自分を「欺いており、真理は私たちのうちにありません。」神の望まれることを考え、望み、行うことをしておらず、神との交わりを持っていません。
一方で、どんな罪であってもそれをすぐに告白することが習慣でライフスタイルになっているなら、「神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、あらゆる不正から清めてくださいます。」このように罪を告白する熱心さこそ、神との交わりがあることの証拠です。

クリスチャンの人生とは、現状維持の人生ではなく、神の基準に向かって進み、向上していく人生です。重

要なのは、罪を犯すかどうかではありません。なぜなら、私たちは皆、罪を犯すからです。しかし、神は御自身の約束に忠実であるため、私たちが罪を告白すればするほど、赦され、変えられていきます。

これは、子犬のトイレトレーニングに似ています。子犬を部屋に入れると、最初は床におしっこをしてしまいます。しかし、床におしっこをするたびに、トイレトレーニング、つまりしつけをされている子犬は、何が正しいかを学んでいきます。一方で、トレーニングをされていない子犬には、何の変化もありません。

重要なのは、子犬が完全にしつけられているかどうかではなく、しつけをされているかどうかです。しつけられた子犬は、最終的には床におしっこをしなくなります。しかし、しつけられていない子犬は、決して変わることはありません。

私たちも、ある意味同じです。私たちは皆、神との交わりがあると主張できます。しかし最初は、私たちは皆同じように見えます。罪を犯します。怒って、嘘をつき、盗み、著作権を侵害し、不道徳な関係を持ち、ポルノに溺れ、お金や人の尊敬を求めます。
しかし、神との交わりを持ち、日々のQTを続け、自分の心を日々見つめ、罪を定期的に告白する者は、変えられて、徐々に神の基準に近づきます。一方で、そうでない者は、変わりません。

重要なのは、完全に変えられたかどうかではなく、変えられつつあるかどうかです。罪を習慣的に告白する者は、神との交わりに留まり、日ごとに神のように考え、望み、行動する者となっていきます。これが２番目のテスト、「告白のテスト」です。

（4） テスト＃3：否認のテスト

３番目のテストは否認のテストです。10節にあります。**「10 罪を犯したことがないと言うなら、それは神を偽り者とすることであり、神の言葉は私たちの内にありません。」**

第三のテストは、神に対して罪を犯しているか認めるか、それを否定するかで、神との交わりを持っているかを確かめます。神との交わりが深まれば深まるほど、私たちは神のように考え、神の望むことを望み、神の御心に沿って行動したいと思います。そして、自分がどれほど罪深い者であるかをよりはっきりと見えます。
そのため、パウロはまず自分を「使徒たちの中では最も小さな者」と表現し、次に「すべての聖なる者のうちで最も小さな者」と述べ、そして死を前にしては、「罪人の頭」と自らを呼びました。

クリスチャンの親として、子どもたちが自然に、「ごめんなさい。壊しちゃった」とか「お金を盗っちゃった」とか「何々の罪を犯しちゃった」と悔い改める様子で話してくれたときは、とても嬉しかったです。それは、子どもたちが神との交わりを持っている証だからです。
ヨハネによると、もし日々の生活の中で自分の罪を見いだせないなら、「神は嘘つきだ」と言っているのと同じです。神が、私たちはイエスを必要とする無力な罪人が言っているのは嘘だ、と言っているのと同じです。

ヨハネの手紙一 2:1-2 「1 私の子たちよ、これらのことを書くのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためです。たとえ罪を犯しても、私たちには御父のもとに弁護者、正しい方、イエス・キリストがおられます。 2 この方こそ、私たちの罪、いや、私たちの罪だけではなく、全世界の罪のための宥めの献げ物です。」

イエスは私たちの罪のために死なれました。それによって、自分たちがどれほど罪深いかを知り、イエスを通して赦しを受け、父なる神と御子イエスとの交わりのある新しい人生を歩むことができます。そしていつの日か、私たちは罪のない神の子どもに変えられます。すべては、罪の告白から始まります。

もしかすると、みなさんは「自分はあまりに罪深い」とか「もう遅すぎる」と思っているかもしれません。もし自分が罪を犯していることに気づいているなら、遅くはありません。まさに神が望む場所にいます。そこから交わりは始まります。イエスに罪を赦してくださるように求め、イエスに従い、イエスとの交わりの中に入ってください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://t-b-c.us/sg4925jp

★クラス 301
賜物発見
1月18日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 201 まで修了した、TBCメンバーの方

★クラス 401
人生の使命を発見する
2月8日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 301 まで修了した、TBCメンバーの方

全クラス申し込み： https://t-b-c.us/classes

奉仕者募集中！

急募！

1.日本語訳レイアウト&印刷

（女性２名募集）

英語のスキルは必要ありません。

・月１回、土曜日16時にTBCにて作業します。今見ているこの紙を作成&印刷してもらいます。ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

***スキル：MS Wordの操作ができる方。**
***TBCの教会員であることが必須です。**

2.礼拝メッセージ翻訳

・1か月半～2か月に1度、自宅でできます。スケジュールは都合に合わせて選べます。
英語と日本語が出来る方

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org